

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【公表番号】特表2017-508585(P2017-508585A)

【公表日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2016-575609(P2016-575609)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/00

A 6 1 B 17/03

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月10日(2017.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メッシュプロステーゼの境界領域に隣接して第 2 のメッシュ層に貼り付けられた第 1 のメッシュ層と、前記第 1 のメッシュ層と前記第 2 のメッシュ層との間に定義され、前記境界領域から内側に延在するエンクロージャと、前記第 1 のメッシュ層において前記第 1 のメッシュ層を前記エンクロージャまで貫通する開口と、前記エンクロージャの内部にガイドポケットを定義する固定ガイドテンプレートと、を有するメッシュプロステーゼと、

前記エンクロージャの内部に取り外し可能に配置され、前記境界領域に向けて延在し、前記メッシュプロステーゼを非デプロイ構成からデプロイ構成に促すための弾性デプロイメント力を生成する伸縮性を有する弾性デプロイメント構造と、

前記弾性デプロイメント構造の境界から外側に延在し、前記弾性デプロイメント構造と前記メッシュプロステーゼとの間の相対回転運動を妨げるように前記ガイドポケットの内部に係合されたシールド突起と、

を含む

ことを特徴とする医療デバイス。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の医療デバイスと、

固定ツールと、

を含み、

前記シールド突起は、前記固定ツールが患者の組織に前記第 1 のメッシュ層を貼り付ける固定プロセス中であって前記固定ツールが前記エンクロージャに挿入される時に、前記固定ツールから前記第 2 のメッシュ層のための防護壁を形成する

ことを特徴とするシステム。

【請求項 3】

前記固定ツールは、タッカガンである

請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記弾性デプロイメント構造から延在する複数の前記シールド突起と、

前記固定ガイドテンプレートによって定義された複数の前記ガイドポケットと、
を含み、

前記シールド突起の夫々は、前記ガイドポケットの対応する 1 つの内部に係合される
請求項 1 に記載の医療デバイス。

【請求項 5】

前記弾性デプロイメント構造は、前記弾性デプロイメント構造に配置され、前記弾性デ
プロイメント構造の中央部から概ね蛇行形状に前記境界に延在するセパレーションライン
を更に含む

請求項 1 に記載の医療デバイス。

【請求項 6】

前記セパレーションラインは、1 つ以上のスルーホールを含む

請求項 5 に記載の医療デバイス。

【請求項 7】

前記セパレーションラインは、前記弾性デプロイメント構造に対して少なくとも部分的
に切り込みを入れられた連続溝を含む

請求項 5 に記載の医療デバイス。

【請求項 8】

前記セパレーションラインの端に配置されたスルーカットを更に含む

請求項 5 に記載の医療デバイス。

【請求項 9】

前記医療デバイスのための位置調整ツールとして配置された第 1 のアームと、
前記弾性デプロイメント構造のための取り外しツールとして配置された第 2 のアームと

、

を更に含み、

前記第 1 のアームに印加された引張力によって前記セパレーションラインに沿った切り
離しを開始され、

前記第 2 のアームに印加された引張力によって前記セパレーションラインに沿った切り
離しを開始されない

請求項 5 に記載の医療デバイス。

【請求項 10】

ハンドルアセンブリの第 1 のアームと第 2 のアームとを更に含み、

前記第 1 のアームと前記第 2 のアームは、前記ハンドルアセンブリを前記医療デバイス
のための位置調整ツールとして定義するロック構成とし、前記ハンドルアセンブリを前記
弾性デプロイメント構造のための取り外しツールとして定義するアンロック構成とするよ
うに適応される

請求項 5 に記載の医療デバイス。

【請求項 11】

前記ハンドルアセンブリが前記アンロック構成にある時は、前記第 1 のアームに印加さ
れた引張力によって前記セパレーションラインに沿った切り離しを開始され、

前記第 2 のアームは、前記第 2 のアームに印加された引張力によって前記セパレーシ
ョンラインに沿った切り離しを開始されないように構成されると共に配置される

請求項 10 に記載の医療デバイス。

【請求項 12】

前記セパレーションラインに沿った切り離しは、前記境界によって形成されたリングを
終端とする

請求項 5 に記載の医療デバイス。

【請求項 13】

前記弾性デプロイメント構造に連結され、位置調整ツールと取り外しツールの両方とし
て構成されるツールを更に含む

請求項 1 に記載の医療デバイス。

【請求項 14】

前記境界の近辺に相互に同等の間隔距離をもって配置された複数の前記シールド突起を含む

請求項 1 に記載の医療デバイス。

【請求項 15】

前記シールド突起は、概ね矩形状を有する

請求項 1 に記載の医療デバイス。

【請求項 16】

前記ガイドポケットは、概ね矩形状を有する

請求項 1 に記載の医療デバイス。

【請求項 17】

前記ガイドポケットは、前記第 2 のメッシュ層に前記第 1 のメッシュ層を貼り付けることによって形成された複数の壁によって定義され、

前記複数の壁は、前記第 2 のメッシュ層に前記第 1 のメッシュ層を連結する、ステッチ、接合、接着、又はその組み合わせによって形成される

請求項 1 に記載の医療デバイス。

【請求項 18】

前記メッシュプロステーゼに配置された塗料を更に含み、

前記塗料は、エステル結合によって実質的に無作為の構造に架橋された $\omega-3$ 脂肪酸を有する生吸収可能架橋材料を含む

請求項 1 に記載の医療デバイス。